

地域に広がる支え合い健康づくり事業

～秀峰大山に広がる医療・福祉とつながる地域コミュニティの輪～

鳥取県保険者協議会

事業概要

地域で安心して生活し希望がかなう社会を実現するため、地域コミュニティを軸とした事業を展開する。

- ・住民が「普段から楽しくいられる場」（地域コミュニティ）で過ごす中で、人と「つながる」機会を享受し、様々なコミュニティ活動を通じて心身ともに健康な状態に「つながる」ことを目指す。
- ・コミュニティの場において、個々の住民が必要とする医療・福祉・行政サービス等について知れる・触れる機会を積極的に提供することで、住民が抱える健康リスク、孤立・孤独等のリスクの更なる解消につなげていく。コミュニティナース等のリンクワーカー（「おせっかい人」という）や、かかりつけ医など、住民生活に近い支援者をかけ橋として、円滑な事業実施を図る。
- ・コミュニティの周囲にいる「孤立・孤独、ひきこもり等の困難を抱えている方」について、そのような方の把握や、必要とする支援先への接続等も視野に入れた活動を行う。

ポイント 1

「おせっかい人」が地域コミュニティに入り込むことで、コミュニティの周囲にいる「孤立・孤独、引きこもり等の困難を抱えている者」を把握し、必要な支援先へ繋げるなど伴走支援していく。

さまざまな地域コミュニティ（日常生活）



ポイント 2

「かかりつけ医」と「おせっかい人」が連携し、健康課題や困りごと、社会的課題などを把握し、医療保険者や行政等関係者が主体的に参画する「ウェルビーイング推進会議」において協議・行動していく。

ポイント 3

オンライン健康相談を積極的に取り入れ、中山間地域における物理的な距離と、感染症等による影響を解消する。

各種行政サービスによるアプローチ
・特定健診・特定保健指導
・介護・フレイル対策
・ひきこもり、生活困窮者支援 等

連携・定期的な情報交換
必要な行政サポートの検討・提供

自治体

保険者協議会

・事業の統括・運営サポート
・医療等データを活用した地域特性のデータ分析

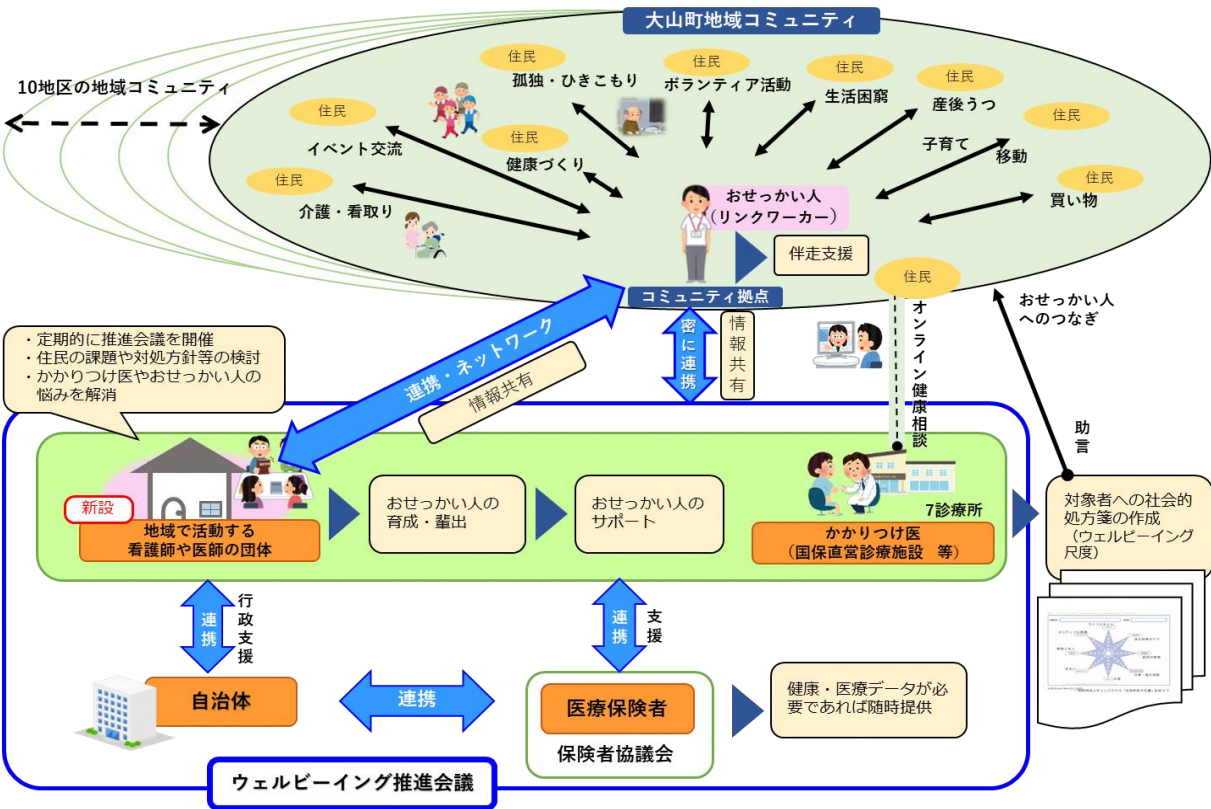
ポイント 4

地域コミュニティで活動する「おせっかい人」が住民との架け橋となり、必要な支援や健康づくりを進めるとともに、中山間地域に不可欠な地域福祉施策と融合させた持続可能な仕組みを構築する。

事業展開とめざす方向

事業の展開

- ① 住民（加入者）
それぞれが日常生活の中で、地域コミュニティで活動
- ② 地域で活動する看護師や医師の団体を核とし、各地域コミュニティの活動拠点で「おせっかい人」（リンクワーカー）が、コミュニティ活動に入り込み、健康状態や困りごとを把握。併せてコミュニティの周囲にいる、孤立・孤独等の社会的課題を抱えている方も把握
「かかりつけ医」も普段の診療の中で、健康課題や困りごとを把握
⇒社会的処方箋（ウェルビーイング尺度）の作成と対象者へのフィードバック
- ③ 「おせっかい人」や「かかりつけ医」が連携し定期的に情報交換
・健康状態や生活環境が気になる方のサポート方法の検討
・コミュニティ内での健康相談の実施等（かかりつけ医とのオンライン健康相談）
- ④ 「おせっかい人」や「かかりつけ医」が把握した住民ニーズ等を行政機関や支援先等と共有。必要な行政サポートを検討。
- ⑤ 社会的処方箋に基づいた行政サービス等の提供・実施。
「おせっかい人」が伴走支援するとともに関連情報を連携住民と共有
- ⑥ 加入者が地域コミュニティで活動、困りごとが解決
孤立・孤独等の社会的課題を解消



人材育成

おせっかい人等の役割を担う人材を発掘するとともに、研修等を通じて、地域の連携役としての役割や地域住民の社会参加を促進するためのスキル習得により、体制構築支援を進める。

・「おせっかい人」の発掘

「おせっかい人」の発掘・育成を促進するため、地域で活動する看護師等にコミュニティナースが講師となって研修を実施し地域の健康づくりに関するノウハウを習得する。

・新たな「おせっかい人」を育成・輩出

上記「おせっかい人」が講師となって、地域コミュニティの中で活動する住民に対して健康づくりに関する研修をすることで、新たな「おせっかい人」を育成・輩出する。